

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会科学入門（Introduction to Social Science）		
ナンバリングコード	B10505	大分類 / 難易度 科目分野	教養教育科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A033551	クラス名	-
担当教員名	長崎 浩介、小久保 雄介、後藤 徹寛、橋本 拓、大西 貴之、明石 昭生、川上 雄一郎		
履修上の注意、 履修条件	1. 少人数制で集中的かつ双方向型の授業を行うため、履修生の定員を50人とし、履修希望者が定員を超える場合は、開講に当たり履修生の選考を行います。開講前の告知に注意してください。 2. 1.の選考に当たっては、科目の性質上、工学部及び保健医療学部を優先します。 3. 原則として教室授業（対面方式）により実施しますが、一部の授業回で遠隔授業とすることがあります。		
教科書	指定しません。 レジュメ、スライドなどを使用します。		
参考文献及び指定図書	授業中に随時紹介します。		
関連科目	経営経済学部各科目		

○基本情報		
授業の目的	大学で取り扱う学問（科学）は、人文科学、社会科学及び自然科学の3分野に大別されます。このうち社会科学とは、主に社会の営みを分析対象とし、伝統的には法学、政治学、経済学、経営学、社会学、教育学などがこれに分類されます。また近年では、これらの伝統的なジャンルを越え、又は融合した、学際的な研究分野も発展しています。 この授業では、主に理系（保健医療学部及び工学部）の学生を対象として、本学経営経済学部の社会科学各分野担当の教員（研究者）が、それぞれが専門とする分野のエッセンスと、研究の実際を紹介します。学生の皆さんには、社会科学のさまざまなジャンルや研究活動に触れることを通じて、自身の専門分野にとどまらない幅広い視野や教養を身につける契機とすることを期待します。	
授業の概要	本学経営経済学部の教員が、オムニバス形式により分担して授業を担当します。 担当教員（専門分野）は、次のとおりです。（授業順） 長崎 浩介（会計学）、後藤 徹寛（観光学）、川上 雄一郎（教育学）、大西 貴之（法学）、小久保 雄介（経営学）、明石 昭生（経済学）、橋本 拓（社会福祉学）	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	地方公務員（長崎） 新聞社及び省庁・国立研究所等に勤務。新産業創出や産学官連携に従事（後藤） 小学校教員（川上） 国家公務員（明石） 社会福祉士。社会福祉協議会、居宅介護支援センター等に勤務（橋本）	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100%）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【ディプロマ・ポリシー①】	社会科学一般の基本的思考法を、自身のライフプランに適用する能力を得る。		30%	
【ディプロマ・ポリシー②】	社会科学一般に関する基本的な知識及び素養を獲得する。		40%	
【ディプロマ・ポリシー③】	社会科学一般の基本的思考法を活用し、産業経済、社会及び地域の課題解決に参画する能力を得る。		30%	

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）
[Sレベル]到達目標を満たしている。 [Aレベル]到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]到達目標を一部満たしている。 ・レポートは、授業時に指示される注意事項に従って締切日まで提出してください。すべて提出した場合は、評価の対象とします。 ・授業に欠席や遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。 ・配布資料の概説や実習問題などを通して、授業内容や課題のフィードバックができるようにします。

○その他
授業内容に関する質問をいつでも受け付けます。各回担当の教員へおたずねください。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	社会科学入門（Introduction to Social Science） 長崎 浩介、小久保 雄介、後藤 厳寛、橋本 拓、大西 貴之、明石 昭生、川上 雄一	授業コード A033551
学修内容			
1. オリエンテーション／社会科学とは何か【長崎】 この回では、授業全体の進め方についてガイダンスを行うとともに、社会科学（に属する学問群）の全体像と、この講義で触れるトピックのあらましについて解説します。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
2. 多文化共生・異文化理解（コミュニケーション）【後藤】 「観光／ツーリズム」の視点から、世界の中の日本、そして大分のプレゼンス（存在意義／存在価値）について、具体的な「温泉（湯治）」や「景観（里山）」、「禅（ぜん）」といった日本独特の文化や歴史、思想などを紹介します。さらに、多様な文化や価値観を認め合う「多文化共生」、そして自分と異なる文化や価値観、生い立ちを理解する「異文化理解」について、コミュニケーションの重要性とともに解説します。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
3. 国際理解と地域連携（世界の中の日本・大分）【後藤】 国際社会において国家は、ひとつの塊（かたまり）、グループである一方、異なる文化や習慣を持つ様々な国や民族と交流しながら存在しています。とくに「グローバル社会」と言われる現代社会は、食糧や燃料資源を交易しながらでないと日々の生活を送ることさえ困難な時代です。このような社会的背景において、国際理解・国際協調は不可欠だと考えられています。同様に、国内でも地域間の交流や連携なしでは自治体の行政も立ち行かくなりつつある中、「観光／ツーリズム」を通して社会を分析します。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
4. 学ぶって何だろう？（学校心理学）【川上】 これまで、幼稚園・保育園・こども園等、小・中学校、高等学校、そして家庭や地域の活動において、さまざまな学びを深めてきました。このような学びは、それぞれの時期に必要な内容を系統的に先生から教えてもらったり、仲間同士で協力して活動したり話し合ったりして、自分の知識・技能、思考・判断・表現、学びに向かう力を身に付けてきたことでしょう。そこで今回は、心理学の知見に基づき、「学び」の原理について議論します。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
5. ストレスマネジメント（生徒指導・教育相談）【川上】 ストレスマネジメントとは、ストレスとうまく付き合っていくことを指します。ストレス反応が起こっている状態が続くと心身にさまざまな影響が表れることがあります。そのため、ストレスマネジメントをおこない、心身への影響を未然に防ぐことが重要です。しかし「ストレスに対処したくても、やり方がよく分からない」という場合もあります。そこで今回は、日常生活でのストレスマネジメントのやり方などについて演習を通して身に付けます。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
6. 法と社会入門【大西】 社会で起きた事件や問題には、その背後に必ずといってよいほど法の問題が絡んでいます。これは、血液が私たちの身体を循環するように、法が社会のなかで目に見えるところはもちろん、普段目に見えないところにまで張り巡らされていることによります。例えばビジネスにおける企業の意思決定や国や自治体などの公共的活動、さらには私たちの日常のささいな行為のそれぞれに、法は関わっています。この授業では、皆さんにとって身近な問題から法学入門を学びます。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
7. 契約法入門【大西】 私たちは、商品を買ったり買ったりするとき、他人から物を借りるときやサービスを受けるとき、アルバイトや正社員という「労働者」になるときに、必ず何らかの契約を交わしています。契約を通して、私たちは家族や友人だけでなく、見知らぬ人とも、社会関係を築いて生活をしているのです。この授業では、いつのまにか契約のトラブルに巻き込まれるということがないように、契約の仕組みとその基本的なルールについて学びます。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
8. マーケティング入門【小久保】 多く企業は利潤を追求するために何かしらの商品（目に見えるモノだけでなくサービスまで含む）を販売しています。商品の販売のために企業は様々なことを考え、顧客とのコミュニケーションを行っています。この授業ではそのコミュニケーション＝マーケティングの入り口を解説していきます。具体的にはSTP（お客さんを誰にして、どのような印象を持ってもらうか？）、4Ps（Place、Price、Product、Promotion）の概要を学びます。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	社会科学入門（Introduction to Social Science） 長崎 浩介、小久保 雄介、後藤 厳寛、橋本 拓、大西 貴之、明石 昭生、川上 雄一	授業コード A033551
学修内容			
9. 経済・社会と企業会計【長崎】 営利・非営利を問わず、おカネを扱う組織には必ずその動きを記録し、その結果を誰かに報告する営みが行われています。組織のおカネの動きを記録・報告する機能のことを会計といい、中でも営利企業の会計（企業会計）では、その記録・報告のために高度なルールの体系（会計制度）が存在します。なぜ高度なルールが必要なのでしょう？ この回では、会計のルールと経済・社会との関わりについて学びます。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
10. 商品開発入門【小久保】 前回の授業で4Psについて学習しましたが、多くの企業は販売する商品（Product）がないと事業を行うことができません。この授業では世の中の商品がどのように考え、作られていくか（商品開発）について学習していきます。具体的には商品開発のプロセスや問題点などを概観した後に開発の上流工程の商品企画についてのポイントについて実際の事例などを用いながら理解を深めていきます。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
11. ミクロ経済学入門【明石】 ミクロ経済学は、経済における「市場」というものの機能を重要視します。この回では、市場の機能を理解する上で基本となる需要曲線と供給曲線について学びます。そのうえで、なぜ市場機能が重要視されるのかについて「余剰」という視点から考えてみます。そして、市場に対して政府などが「課税」などで介入することは、社会の余剰にどのような影響を与えるのかについてグラフなどを用いて考えていきます。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
12. マクロ経済学入門【明石】 マクロ経済学は、経済における「需要」を重要視します。経済が不況になったときに、政府は公共事業を行い社会に「需要」をつくりだします。こうした公共事業の経済効果を理論的に説明することがマクロ経済学の出発点です。この回では、公共事業が経済に与える影響について考えるために簡単な事例演習を行います。この演習を通じて需要が需要を生み出す連鎖構造の考え方を感覚的に理解できるようにします。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
13. 社会福祉概論【橋本】 「ふくし」って何？「社会福祉」と聞いて何をイメージするでしょうか。 現代社会において、社会福祉に関わる課題は、多様化、複雑化しています。それに伴い、社会福祉の捉え方もさまざまであり、社会福祉に携わる人や機関等も多様な形態で連携しています。 この回では、現代社会が抱える社会福祉の現状と課題について、社会福祉の歴史も含めながら概観し、今後の社会福祉の目指すべき方向性を確認していきます。その中で、自分自身の「ふくし」に対するイメージを膨らませましょう。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
14. 自己覚知【橋本】 社会福祉に携わる専門職（ソーシャルワーカー）は、倫理観や社会福祉の価値に基づいてクライアント（相談者や利用者）と関わります。この際、必要になるのが「自己覚知」です。ソーシャルワーカーは、クライアントに対して“真剣に向き合う”ことが求められます。そのために大切なことは、ソーシャルワーカーがまず自分の“気持ち”に“真剣に向き合う”ことです。なぜなら、自分の気持ちを理解することができる範囲でしか、他者の気持ちを理解することはできないからです。この「自分の気持ちを理解する」過程のことを「自己覚知」といいます。この回では、ワークを通じて、自己覚知について具体的に学んでいきます。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
15. 日本の地方自治【長崎】 日本では、住民に対する行政サービスの提供を国（中央政府）と地方自治体（都道府県・市町村）で分担しています。国内の行政サービスの一部を地方自治体が分担する仕組みのことを地方自治といいます。この回では、地方自治の必要性、国と地方自治体との分担の考え方、地方自治体の運営（ガバナンス）の仕組みなど、地方自治の仕組みの基本を学びます。			
予習	配布資料（プリント）を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間
復習	配布資料（プリント）を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。		約2時間
16. 期末試験 実施しません。			
予習			
復習			